

暮らしに役立つ確かな情報をお知らせ

上手な暮らし塾

消費者

海外旅行のネット予約は利用規約を必ず確認！〜リスクを十分考えて〜



Aさんは、妻とのヨーロッパ旅行を、旅行会社のパックではなく、自分たちでプランを立てることにしました。

憧れの夜行列車で旅行したいと「寝台の二人個室」をネット検索すると、日本語表示が付いた海外のサイトが見つかりました。Aさんは、日本語で「1等」の表示があるクラスを、グレードが高い「寝台一人用個室」と思い、列車代も含めて予約し、クレジットカードで決済しました。

翌日、確認メールを見ると、個室でも寝台でもなく、リクライニングシート席で、しかも男女は別々の車両となっていることがわかりました。慌てて、利用規約をよく見ると、「キャンセル変更には応じない」と書かれていました。サイトに書かれていた日本代理店の注意事項欄にも「購入したチケットに関する質問は受け付けない」と書かれていました。それでもAさんは、手配が違つとメールしたところ「夜行

列車は〇等」という設定はなく、リクライニング席は「等相当ということになる。自己責任での購入となるので、変更・返金には応じない」と返信され、消費者センターへ相談しました。

このように、海外旅行を外国のサイトで予約した場合、日本の旅行業法に基づく標準約款上の規律が及ばないため、救済が困難な場合がほとんどです。Aさんの場合も、海外の事業者との交渉だったことや、出発まで時間もなかつたことから解決には至りませんでした。

インターネットで海外旅行を契約する際は、値段や内容を日本的な感覚で解釈しがちですが、国の事情や商品の内容をよく理解し、リスクを十分に踏まえた上で申し込まなければなりません。

これから海外旅行を計画される方は、契約内容をよく確かめ、賢く楽しい旅行にしましょう。

■「相談は消費者センター（メルカフキまち4階、相談専用☎829・1234）へお気軽にごうぞ。受け付けは午前10時〜午後5時です。月曜日休業（祝日の場合、直後の平日）。土日・祝日も相談できます。

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会〜間之瀬自治会〜

明るく住みよいまちづくりのため、さまざまな活動をしている自治会。

災害に対する備えを通じて、地域の皆さんが安心して暮らせるように取り組んでいる自治会もあります。

今回おじゃました間之瀬自治会では、高齢者や障害者など助けが必要な人を地域みんなでサポートする取り組み「ささえあいマップづくり」を実施しました。

◆三田村（みたまら）自治会長にお話を伺いました。

―始めたきっかけは？

以前「防災マップづくり」を行った時に、一人で避難をすることが難しいかたの支援はどうなのかということに気がつきました。

そこで、地域で結束して、全員が確実に避難できるような支援の仕組みをつくる必要があると考え、「ささえあいマップづくり」に取り組みました。

―参加した皆さんの様子は？

自治会内には5つの地区があり、各地区の防災リーダーを中心とし



て、参加者から次々と地域の生きた情報が出てきました。「ささえあいマップづくり」を通じて、地域のつながりや信頼を深める場になっていると感じました。

―気づいたこと、工夫したことは？

最初から完璧なマップをつくらうとしないことです。どんなに時間がかかっても、地域の人々でつくりあげることが大切です。時間をかけただけ必ずプラスになると私は思います。

三田村会長ありがとうございました。

「水道や電気などのライフラインも大事だが、となり近所のつながりが本当のライフライン」と語っていた三田村会長。間之瀬自治会では、普段からお互いに目配り気配りを心がけているそうです。

このように、自治会を核に、地域の皆さんがさまざまな活動に参加・協力することで、お互いが支え合う「住みよいまちづくり」の輪が広がっていきます。

あなたも、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ

自治振興課（☎829・1134）